

ティーンズ通信

タイトルロゴ* O・Sさん 16歳*

4

2022

#Happy Books・コミック蔵出しまつりを開催しました
#今月のコレ読も！「ロシア軍のウクライナ侵攻を考える本。」
#ティーンズにおすすめ☆新刊案内 コミック



* O・Rさん 18歳*

みなさんからのイラストやタイトルロゴの投稿を待ってます！



今月のティーンズ通信で紹介した図書は、左のQRコードですぐ検索できます。
コミックはHPから検索してね。

ティーンズ向け本の福袋

Happy Books

30セットすべて貸出御礼！

3月6日から「Happy Books（本の福袋）」の貸出しを行いました。神栖市内高校生がチョイスしたテーマの本が3冊セット。自分では選ばない本が入っているのが福袋のだいご味。借りた人、どうでしたか？感想を教えてくださいね！



ずらりと並んだ Happy Books！



市内高校性がテーマ選定をおこないました。同世代がどんな本を読むのか、気になるね。



中身はこんな感じでした☆



「Happy Books」に入っていた本は、「ティーンズブックリスト」としてご紹介する予定です。どんな本が入っていたのかな？

冊子での配布もありますので、本選びの参考にしてね！

貸出しありがとうございます～楽しんで読んでもらえたら嬉しいです☆

今年は
やったよ！

コミック蔵出しまつり

ご参加ありがとうございます♡

3月19、20日に整理券事前配布制で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、定員・滞在時間・年代を設定したので、例年よりさびしい会場でしたが参加した人はマンガを読むのに集中できたのではないのでしょうか。



例年と違うレイアウト。



マンガ読み放題！蔵出しはこれが良いのだ。

と、いうわけで、中央図書館では、だいたい新しいマンガは「作業室」というカウンターの奥にあります。借りたい人は、マンガのタイトルを職員に伝えて貸出処理という流れです。貸出中でも予約はできません。あるマンガをよむのも発掘感があって良いと思います。無料だし。借りていきましょうよ。



本を紹介

今月のコレ読も!!

ロシア軍のウクライナ侵攻を考える本。

「今回のロシア軍の侵攻がなかったらウクライナの国旗、知らなかったもん」と、テレビでタレントが言っていました。戦争がきっかけで、ロシアやウクライナに関する本が増刷されるというのは、悲しいことなのかもしれません。それでもこれを機に、ロシア、ウクライナという国、世界はどうなっているのか…本を読んで知ることは正しい行為であると思うのです。

『物語 ウクライナの歴史』

ヨーロッパ最後の大国』

黒川祐次 著
中央公論新社 (238ク)

ロシア帝国やソビエト連邦のもとで長く忍従を強いられながらも、独自の文化を失わず、有為の人材を輩出し続けたウクライナ。不撓不屈のアイデンティティは、どのように育まれてきたのか。スキタイの興亡、キエフ・ルーシ公国の隆盛、コサックの活躍から、1991年の新生ウクライナ誕生まで、この地をめぐる歴史を俯瞰。人口五千万を数え、ロシアに次ぎヨーロッパ第二の広い国土を持つ、知られざる「大国」の素顔に迫る。



『ルポ プーチンの戦争』

「皇帝」はなぜウクライナを狙ったのか』



真野 森作 著
筑摩書房 (319マ)
2014年から、ウクライナで「戦争」が続いている。権力中枢に迫り、破壊された街に潜入して戦闘員と市民の声を聞く。プーチン政権によるハイブリッド戦争の生の姿を報告するルポ。

『丸ごと1冊プーチン』

ニューズウィーク日本版 (312マ)

「無名の元スパイ」から「最恐の独裁者」に上り詰めたプーチン。欧米を恫喝し中東を牛耳る剛腕外交の危険度、それでも国民に愛される理由などに迫る。



『13歳からの地政学』

カイソクとの地球儀航海』

田中孝幸 著
東洋経済新報社 (Y312タ)

地政学って？国際政治を考えると、その地理的条件を重視する学問のこと。大きな国の苦しい事情、絶対に豊かにならない国々、地形で決まる運不運…。高校生と中学生の兄妹と年齢不詳の男「カイソク」との会話を通じて、国際情勢やニュースの裏側、国同士のかけひきを楽しくわかりやすく解説する。



『ゴルバチョフに会いに行く』



亀山郁夫 著
集英社 (312カ)

ペレストロイカ政策を推し進め、ソビエト連邦を崩壊へと導いたゴルバチョフ氏にロシア文学者・亀山郁夫がインタビュー。ウクライナ問題、チェルノブイリ、イスラム国のこと…。21世紀はどこへ向かうのかを問う。中高生世代は、ロシア共和国がソビエト連邦という国だったことを社会で習うのかしら？

『コミック版 戦争は女の顔をしていない』

小梅けいと 作画
スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 原作
(Y726コ) 作業室コミックです

ウクライナ出身・ベラルーシ国籍のノーベル文学賞作家、スヴェトラナ・アレクシエーヴィチが描く第2次世界大戦のドイツ・ソ連戦に従軍した女性たちの聞き取りを描いたノンフィクションのコミック版。2巻まで所載しています (3/24現在)。



『ヌマヌマ』

はまったら抜けだせない現代ロシア小説傑作選』



沼野充義・沼野恭子 編・訳
河出書房新社 (983ヌ)

人類初の宇宙飛行士・ソ連の英雄ガガーリンの母が「地球の心臓部」に突き進む「空のかなたの坊や」、謎の作家が体験する鏡の中の世界を描く「トロヤの空の眺め」…。ユニークかつオリジナルな12編を収録した、現代ロシア小説のアンソロジー。あとがきに未成年にはお勧めできない作品があるというのですが、さて。

神栖市では日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」の取り組みに協力し、中央図書館にも募金箱を設置しています。

新刊案内

ティーンズにおすすめ☆



『生きのびるための 「失敗」入門』

失敗するのが怖い？ひとつの失敗が命とり？どんな大人たちも14歳の頃は、自信がなくて失敗ばかりしてきた。元ひきこもり、ロボット研究者、探検家、臨床心理士、オタク女子たちなどに聞いた「失敗経験者」からの生きて行くためのヒントがここにある。
雨宮処凛 著 河出書房新社
(Y159 ア)



『ミモザの告白』

芽えない高校生・紙木咲馬には、完璧な幼馴染がいた。槻ノ木汐一美少年的ルックスを誇る彼は、スポーツ万能で成績優秀。人望に恵まれ、特に女子からの人気が高い。咲馬と汐はかつて親友同士だった。
「このライトノベルがすごい2022」文庫本第4位、2巻まで所蔵。
八目迷 編 小学館
(YBF ハチモ)



『世界が私を消していく』

紗弥は「学校の人たちが、私のことなんて忘れちゃえばいいのに」と願った。すると紗弥は世界から取り残され、誰の心にも残らなくなってしまった。そんな紗弥を、時枝くんだけは何度も思い出して見つけてくれた。
丸井とまと 著 スターツ出版
(YF マルイ)



『大人になるまでに読みたい 15歳のエッセイ 2』

やわらかい思春期の心に伝えたいエッセイセレクション。2は、「ころころがさわぐ」をテーマに、吉行淳之介「死とのすれ違い」、星新一「官僚について」などを収録。巻末に和合亮一によるエッセイを掲載。1~3所蔵。
和合亮一 編 ゆまに書房
(Y914 オ)

コミック

新タイトルコミック



『地縛少年花子くん』	17巻	あいだいろ	スクウェア・エニックス	(Y726 ア)
『かくや様は告らせたい』	25巻	赤坂アカ	集英社	(Y726 ア)
『葬送のフリーレン』	7巻	アベツカサ	小学館	(Y726 ア)
『この音とまれ！』	26巻	アミュー	集英社	(Y726 ア)
『魔王城でおやすみ』	21巻	熊之股鍵次	小学館	(Y726 ク)
『文豪ストレイドッグス』	22巻	春河 35	KADOKAWA	(Y726 ハ)
『Dr. STONE』	25巻	Boichi	集英社	(Y726 ホ)
『恋と嘘』	12巻	美咲編・莉々奈編	講談社	(Y726 ム)

高校生のアンケートに答えました。

『五等分の花嫁』全14巻 春場ねぎ 講談社 (Y726 ハ)



編集後記

・話題の『ドライブ・マイ・カー』を。担当は35年来の村上春樹好きなので観ないわけにはいきまいと思ったので観ました。すごい悲しい話でした。『ワーニャ伯父さん』を借りて読んでます。(担当A)

・元キュレーターで贋作ディーラーが主人公の美術系コミック『ギャラリーフェイク』細野不二彦 (Y726 ホ) 数年ぶりに新刊が出ました。美術にまつわる内容が面白いので、ぜひ読んでみてね。こちらは青少年コーナーにあります。(担当Y)

ティーンズ通信 2022年4月号

発行 神栖市立中央図書館

TEL 0299-92-3746

<https://www.kamisu-tosho.jp/index.html?id=3>



4月の予定

*毎週月曜日は休館です

6日 館内整理日 休館

24日 一般映画会
「コーラス」